

日本香辛料研究会の沿革

1984年8月20日～24日、韓国ソウル(大学)において第5回 Asian Symposium on Medicinal Plants and Spices (ASOMPS) が開催された。このシンポジウムに日本からの招聘演者として出席し、講演した京都大学農学部の岩井和夫教授(当時)と大阪市立大学生活科学部の中谷延二助教授(当時)は、このシンポジウムに大いに刺激を受け、我が国においても ASOMPS のようなシンポジウムかセミナーを開催できないものか話し合った。

これが契機となって、岩井和夫教授は昭和60年度(1985年)の(財)日本農芸化学会鈴木奨学金藪田基金の助成を得、同年11月16日京都大学楽友会館において「香辛料研究の現状と展望」と題する研究小集会(いわゆる藪田セミナー)を開催した。

このセミナーの後、このような領域の研究会は我が国には未だ無かったので、学会・業界の方々の御意見、情報などを参考にして、香辛料の特性並びにその機能の系統的・統合的解明、香辛料の有用機能や有用成分の分析法の確立、新しい利用面の開発などについて討議し、情報交換する場として、岩井教授を会長とする日本香辛料研究会(The Japan Society for Spice Research)が設立された。そして、1986年11月22日に京都大学楽友会館において第1回日本香辛料研究会が催された。その後、毎年、日本の各地で年に1回学術講演会を開催している。2013年4月1日に一般社団法人日本香辛料研究会(The Japan Society for Spice and Herb Research)となり、今日に至る。

その間の会長は、1986年から2000年3月(第1回から第14回研究会)まで、岩井和夫教授(京都大学名誉教授)、2000年からは伏木亨教授(龍谷大学農学部、京都大学名誉教授)である。

日本香辛料研究会は1年に1度、学術研究会を開催しています。

学術講演会開催地一覧

回	年	開催地	会場	世話人・会頭	会長
1	S 61年11月	京都	京都大学楽友会館	岩井 和夫	岩井和夫 (京都大学 名誉教授)
2	62年11月	京都	"	岩井 和夫	
3	63年11月	京都	"	岩井 和夫	
4	H 1年11月	神戸	神戸市勤労会館	岩井 和夫	
5	2年12月	東京	日本大学会館	有賀 豊彦	
6	3年11月	大阪	大阪市立大学	中谷 延二	
7	4年11月	名古屋	名古屋大学	川岸 舜朗	
8	5年11月	東京	日本大学会館	有賀 豊彦	
9	6年11月	金沢	金沢大学	津田 喜典	
10	7年11月	京都	京大会館	岩井 和夫	
11	8年11月	東京	お茶の水女子大学	倉田 忠男	
12	9年11月	京都	京都薬科大学	橋本 圭二	
13	10年11月	大阪	大阪市立大学	中谷 延二	
14	11年11月	名古屋	椋山女学園大学	大澤 俊彦	
15	12年11月	東京	日本大学会館	有賀 豊彦	伏木 亨 (京都大学)
16	13年11月	金沢	金沢大学	太田 富久	
17	14年11月	京都	京大会館	大東 肇	
18	15年11月	大阪	大阪市立大学	中谷 延二	
19	16年11月	岡山	岡山大学	高畑 京也	
20	17年11月	京都	ぱ・る・るプラザ京都	伏木 亨	
21	18年 9月	札幌	札幌ガーデンパレス	西村 弘行	
22	19年 9月	東京	お茶の水女子大学	久保田 紀久枝	
23	20年11月	金沢	金沢大学 角間キャンパス	太田 富久	
24	21年11月	大阪	大阪市立大学	菊崎 泰枝	
25	22年11月	静岡	静岡県立大学	渡辺 達夫	
26	23年11月	福井	福井県国際交流会館	大東 肇	
27	24年10月	藤沢	日本大学 生物資源科学部	有賀 豊彦	
28	25年11月	千葉	ハウス食品株式会社	小野 昭宣	
29	26年10月	札幌	北翔大学	西村 弘行	
30	27年12月	京都	龍谷大学	伏木 亨	